

様式1

平成31年度 学校図書館を活用した「読み」を鍛える拠点校事業 実施計画書

1. 学校の概要

ふりがな	こうちしりつはりまやばししょうがっこう				ふりがな	やまもと たかし			
学校名	高知市立はりまや橋小学校				校長名	山本 敬			
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
児童数等 生徒数等	83	81	69	62	60	69			
	特別支援学級	計		教員数	ふりがな	たかの ちさこ			
	10	児童/生徒数	学級数	28	推進教諭名	高野 知佐子			
		434	17						

2. 研究主題

いかす つながる ことばの力

3. 研究主題設定の理由

本校では、日々の授業の中で自分の考えを交流する時間を設定し、言語活動の充実を図ってきた。それによって、自分の意見を発表し友だちの意見を受けてつないでいくという対話の深まりが見られるようになってきた。しかしながら、学び合いが成立しにくかったり、一部の児童の意見に偏ったりして、考えを深めるに至らない場面も見られた。表現する活動の必然性を児童に持たす発問や活動内容の不十分さ、学び合いを支えることばの力（語彙力）に個人差があること等が課題である。

そこで、ことばの基本的知識・技能を身に付けさせ、対話とコミュニケーションによる問題解決や協働的な学びを多く経験させることによって、豊かな言語力とコミュニケーション能力を高め、これらの力をいかして児童のつながりを深めていきたいと考え、研究主題を設定した。

よりよい学び合いを成立させていくためには、自分の思いや考えを言葉に置き換え、人に伝えられるように言葉を精選する力が必要になる。図書館資料や新聞を活用し、低学年から豊かな語彙を育てていきたい。そして、児童同士の「ことば」と「こころ」をつなげ、結び合わせたい。そうすることによって、本校児童の課題である全国学力・学習状況調査等の思考・判断・表現力の向上も期待したい。

4. 研究仮説

〔目指す児童〕 ○ 自分の意思を進んで豊かに表現する子  
○ 相手の意思を理解し、共感できる子  
○ 主体的に課題を捉えて、自力で解決しようとする子

〔目指す集団〕 ○ 互いの個性を認め合う共感的人間関係  
○ 主体的に課題を捉えて解決できる自治的な集団  
○ 豊かなことばで意思の通い合う「Good Communicators」

以上の児童と集団は、対話やコミュニケーションによる相互理解と意思決定の経験を土台として、目標や目的を明確にした問題解決・課題実現・協働的な学習を継続することによって育てることができるであろう。そして、これらの基盤である言語力（ことばの力）の育成が読解力の向上につながるものではないかと考える。

## 5. 方法及び内容

- (1) 伝え合う力の育成（指導の共通化・言語技能シートの活用）
  - ・ 言語技能の指導…話す・聞く・書く・伝え合うの観点から目標と内容を系統的に示した言語シート内の話型を教室に掲示し、活用することにより段階的・継続的に基本的な言語技能を身に付けさせる。
- (2) 対話的な学びの方法（言語活動の創意工夫）の研究
  - ・ 言語活動の中で対話的に学ぶことによって、考えを的確に分かりやすく表現できる語彙を知り、互いに思考を深め合ったり人間関係を豊かに築いたりする言語力を身に付けさせる。
- (3) 図書館資料・新聞等を有効に活用した授業づくり
  - ・ 学校図書館の計画的利用による読書活動の充実と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善によって、図書資料及び新聞を生かして言語能力や情報活用能力を育成する。  
※ 全員で実践・共有するために全学年が全校研を行う。
- (4) 授業研究(PDCA 確立)の充実
  - ・ 授業構成や指導の共通化を図るために、身に付けさせたい資質・能力を明確にした目標設定と課題を考えるとともに、語彙や言語力を身に付けさせる言語活動の内容を考える。そして、学力差を考慮した手立てや支援を取り入れる。授業づくりのスタンダードに視点を当てた授業研究を行うことによって、目標と指導と評価の一体化を図り、授業づくりと授業改善のPDCA サイクルを確立する。

## 6. 研究体制

- (1) 言語部を中心として、付けたい力を明確にした授業づくりの研究を行う。
- (2) 学級担任とTTとの連携を生かした授業実践、授業改善を行う。
- (3) 図書館資料や新聞を積極的に活用して言語活動の充実を図る。
- (4) 計画的に講師を招聘し、教員研修を実施する。

## 7. 検証

達成目標	指標	時期
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 質問紙「1日の読書量が1時間以上」20%以上、「新聞を読んでいる」30%以上を目指す。</li> <li>○ 全国学力・学習状況調査の国語の平均正答率が、全国平均より3ポイント以上を目指す。</li> <li>○ 主体的・協働的に学ぶ探究型の授業による言語力を高めた児童を育成する。</li> <li>○ 児童の読解力の向上を図り、高知県学力定着状況調査の国語の平均正答率が、県平均より3ポイント以上を目指す。</li> <li>○ 課題解決能力と主体性を持った自治的・支持的集団を目指す。</li> <li>○ 図書館利用者数が年間のべ4万人を目標とする。</li> <li>○ 70%以上の児童が年間読書冊数100冊を超えることを目標とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読書に関する質問紙調査の分析と検証</li> <li>○ 全国学力・学習状況調査の分析や学校評価データを基に研究成果を検証</li> <li>○ 高知県学力定着状況調査結果の分析と検証</li> <li>○ 実践集録を作成し、授業成果を検証</li> <li>○ 図書館利用者数や読書量(年間冊数)の調査</li> </ul>	<p>7～8月</p> <p>1～2月</p> <p>3月</p>

## 8. 成果普及の方法

普及内容	方法	時期
○ 学校図書館や新聞を活用した国語科の授業研究（全校研，参観日，小中連携等）	・ 全学年公開授業	通年
○ 学校図書館を活用した実践事例の紹介（図書館だより学校だより，HP等）	・ 学校だよりや図書館通信等で保護者や地域の方へ紹介 ・ HPで発信	通年
○ 研究の取組と成果の発信	・ 研究集録の作成と発信	年度末

## 9. 年間事業計画

	校内研修	公開授業・研究発表会 ※校外に案内する会	研修・視察等
4月	1日(月) ・平成31年度研究内容の共有 ・研究推進組織づくり 2日(火) ・年間研修計画の提案 ・図書館活動年間計画の確認 ・図書館資料や新聞を活用して言語活動の充実を図る単元づくり 18日(木) ・全国学力学習状況調査		
5月	7日(火) ・全校研日程決定 29日(水) ・特別支援学級全校研		14日(火) ・学校図書館活用に関する研修会 ・国語科授業づくり講座 17日(金) ・国語科授業づくり講座
6月	19日(水) ・事前研 26日(水) ・評価委員訪問	・公開授業	19日(水) ・国語科授業づくり講座 21日(金) ・学校図書館活用に関する研修会 ・国語科授業づくり講座
7月	○ 平和学習への取組		

8月	8日(木) ・学校図書館活用の研修 29日(木) ・全国学力・学習状況調査, 到達度把握調査の学力分析		5日(月) ・授業づくり夏季セミナー
9月	4日(水) ・事前研	11日(水) ・公開授業 18日(水) ・公開授業	24日(火) ・学校図書館活用に関する研修会 ・国語科授業づくり講座 27日(金) ・国語科授業づくり講座
10月	28日(月) ・事前研 30日(水) ・評価委員訪問	18日(水) ・公開授業	3日(木) ・高知県学校図書館教育研究大会 31日(木) ・学校図書館教育研究大会四国大会
11月	13日(水) ・事前研	27日(水) ・研究発表会	5日(火) ・国語科授業づくり講座 8日(金) ・学校図書館活用に関する研修会 ・国語科授業づくり講座
12月	19日(木) ・高知県学力定着状況調査	4日(水) ・公開授業	
1月	○ 研究成果と課題集約		
2月	19日(水) ・学力分析(高知県学力定着状況調査) ・研修報告 26日(水) ・各部研究総括 ・次年度研究案策定		
3月	○ 図書館利用者数や読書量(年間冊数)の調査		